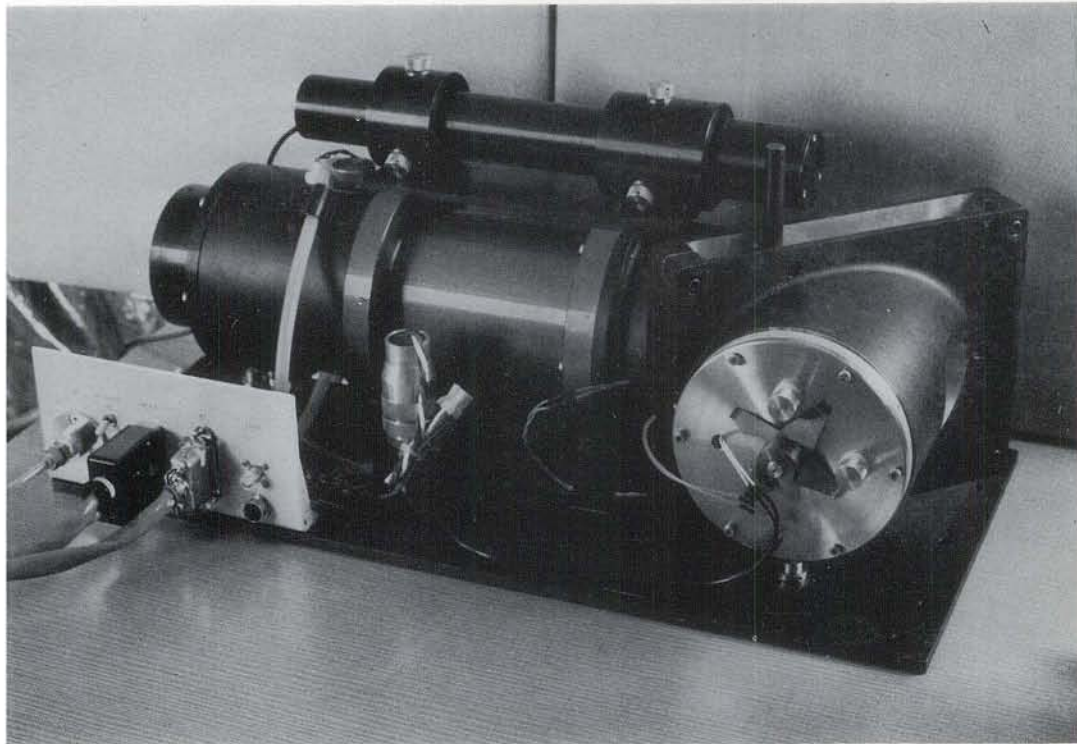
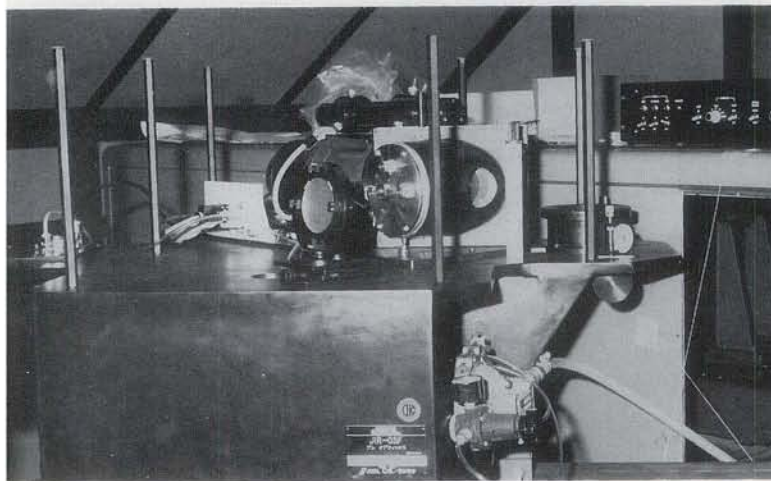


フーリエ干渉分光計 (本文7ページ参照)

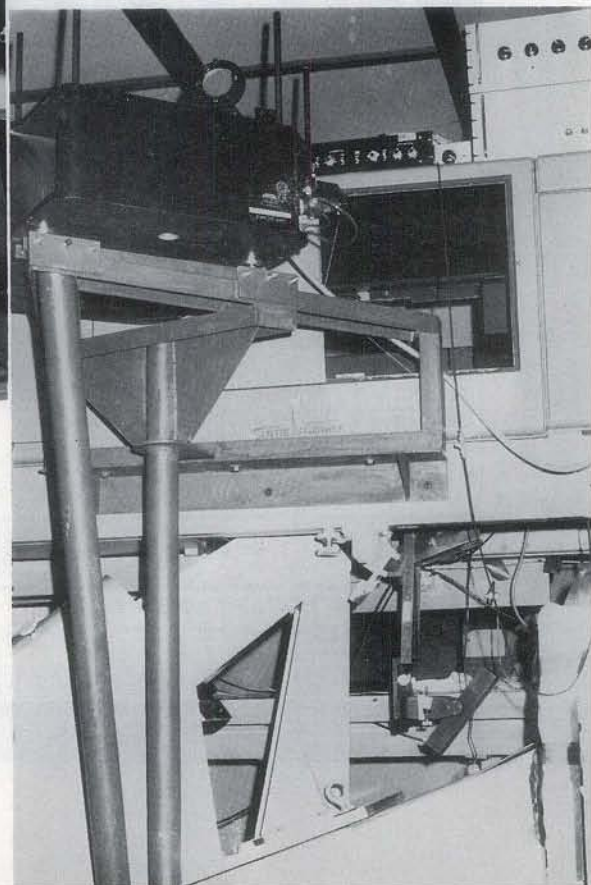


◀ 干渉計
表紙部分を裏から見たところ。
(表紙説明参照)



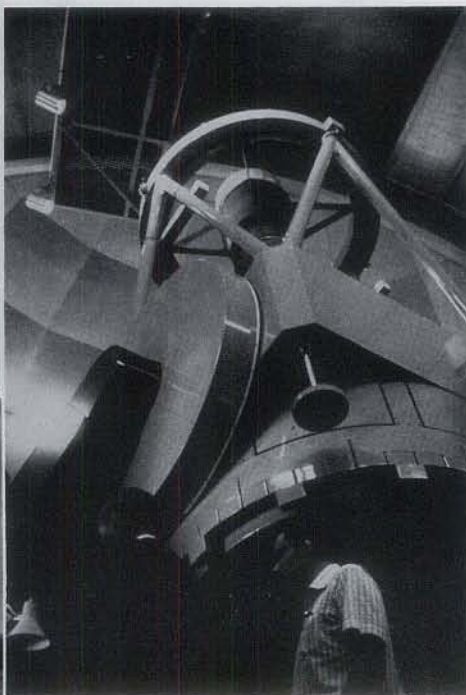
▲ プリ・オプティクス
2階建てで上段には干渉計が、下段にはコリメータがとりつけられている。

188 cm 鏡クーデ分光器の東側にとりつけられた干渉計。▶



ウィーンだより (本文 12 ページ参照)

◀ IAU コロキウム
休憩時間の会場風景

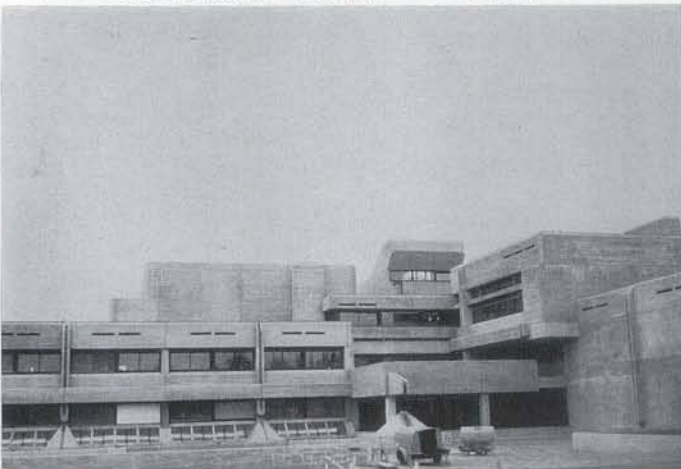


▲ フィグロ観測所の 60 インチ反射望遠鏡

◀ 活動を開始したボンの 100m 電波望遠鏡

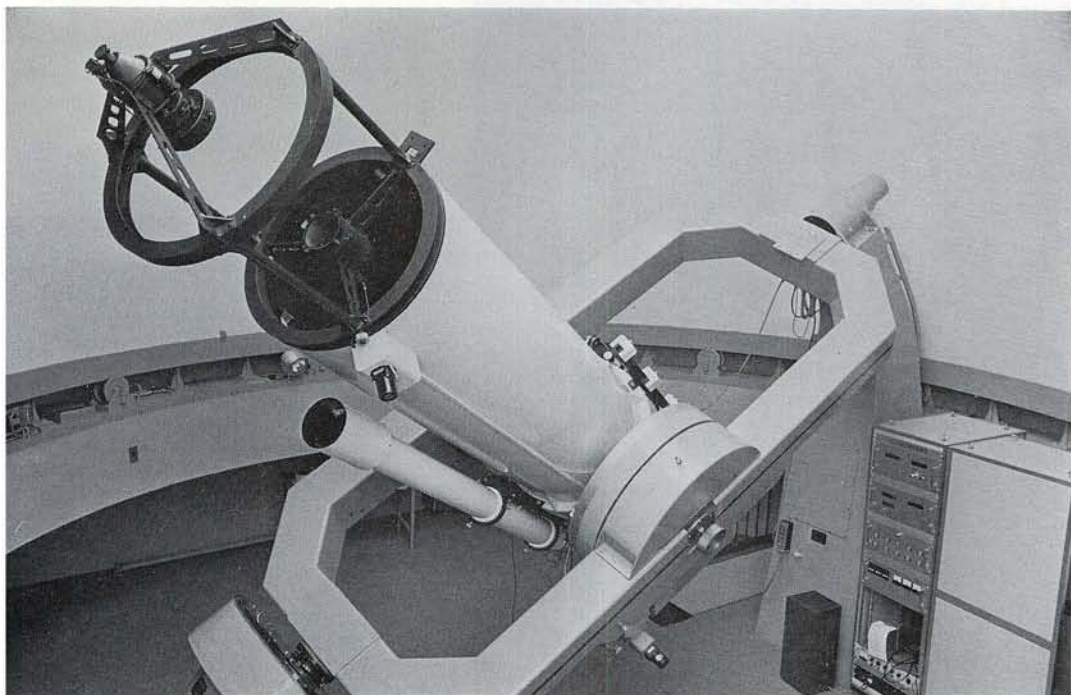
▼ 西ドイツ・ハイデルベルグに完成した、マックスプランク・光学天文研究所。(観測所はスペインにある)

▼ 西ドイツ、ボンのマックスプランク・電波天文研究所。建物の左半分はボン大学天文学教室。



内之浦の60cm反射望遠鏡

(本文 14 ページ参照)

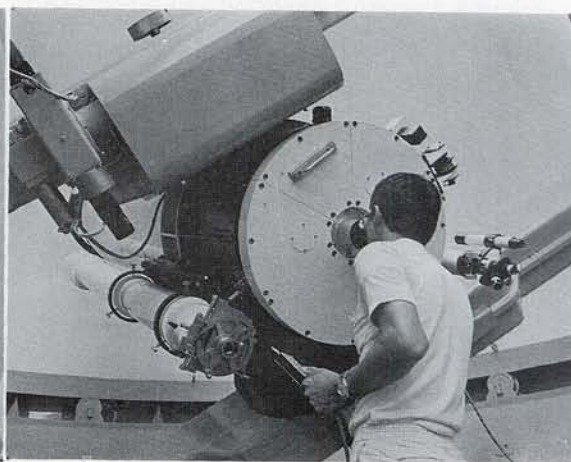
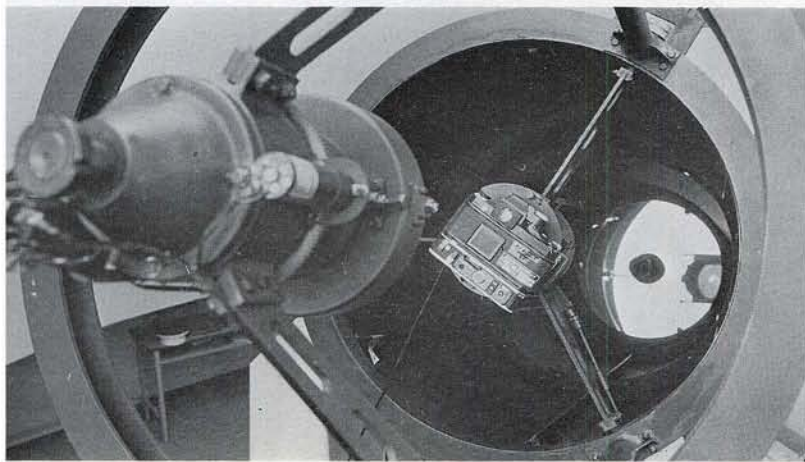


◀ 全景: 主焦点カメラがはずしてある状態

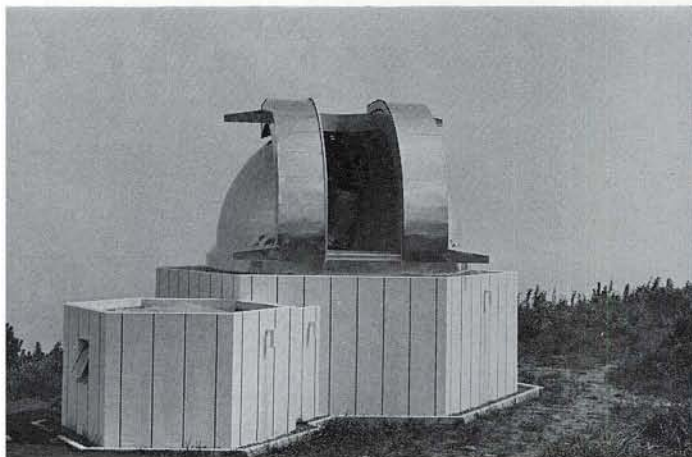
北ピアーにならべて赤経赤緯恒星時等の表示板, 操作スイッチ, 電源等がある。

第二焦点部: 15 cm 屈折望遠鏡のオフセットガイド部が見える。ヨークの腕についた箱は、赤緯軸のギヤトレーンが入っている。

▼ 主焦点カメラをつけた鏡筒先端部: 手前は副鏡とその合焦機構



▼ 観測室外観: ドーム直径 6.5m



1975年9月8日

▼ いっかくじゅう座 X-ray Nova (7分露出)

